

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
人間関係論	小笠原 昭彦	講義	2		2	2	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	人間関係論では社会における人と人との関わりを学びます。この講義では、心理学を基礎として人間関係についての理解を深め、学習者自らの人間関係を振り返ることから出発して、実践の場面に応用できる基本事項を講義します。						
到達目標	①発達的にみた重要な人間関係やそのあり方、②社会の中における対人関係、③人間関係の基本とそこから生じる問題、④学習者自らの人間関係のあり方、⑤健康増進・ストレス・幸福感など実践場面の関係性、⑥援助的コミュニケーションの基本について理解する						
回	学習内容						
1	オリエンテーション、人間関係論・人間関係・対人関係の基本、自己理解演習（シャイネス尺度）						
2	発達の視点からみた人間関係①：乳幼児期の親子関係						
3	発達の視点からみた人間関係②：幼児期から成人期における友人関係						
4	発達の視点からみた人間関係③：職業からみた人間関係						
5	発達の視点からみた人間関係④：青年期の人間関係の悩みとその克服						
6	社会心理学的観点からみた人間関係①：自己と他者						
7	社会心理学的観点からみた人間関係②：親密な人間関係						
8	社会心理学的観点からみた人間関係③：競争と協同						
9	社会心理学的観点からみた人間関係④：非言語行動						
10	現代社会のコミュニケーションと人間関係①：ネット社会の人間関係						
11	現代社会のコミュニケーションと人間関係②：健康増進のコミュニケーション						
12	現代社会のコミュニケーションと人間関係③：ストレスと人間関係						
13	現代社会のコミュニケーションと人間関係④：幸福感に関わる人間関係						
14	人間関係と援助的コミュニケーション、授業のまとめ						
15	試験（試験終了後試験内容について解説）						
予習内容 復習内容	毎週、次回の授業のレジメを配布しますので、事前にそれに目を通して来てください。授業後は、レジメおよびそれに各自が書き込んだメモ、また補足説明を確認してください。						
教科書	教科書は使用しません。授業はパワーポイントによって進め、必要な資料を配付します。参考文献はその都度紹介します。また、適宜、テーマに関連する質問紙などを実施し、自己理解・他者理解を促します。						
成績評価	試験によって成績を評価します（100%）。 基本的な概念、知識および基礎的な理論の理解を問う内容を出題します。 配付資料等は参照不可。						
実務経験							
その他 特記事項	毎回出席を取ります。ただし、出席状況は成績には反映しません。6回以上の欠席は評価の対象外です。出席票に質問、感想などを書いてもらい、それに対する回答、補足説明を次の授業の冒頭で行います。						